

令和元年度 指定管理施設運営状況中間評価表

1. 施設の概要

施設の名称	むつ市早掛レイクサイドヒルキャンプ場		
指定管理者	団体名	むつ商工会議所	
	代表者	会頭 其 田 桂	
	所在地	むつ市田名部字小平館の内尻釜45番18号	
指定期間	平成 31 年 4 月 1 日 ～ 令和 6 年 3 月 31 日 (5 年間)		
指定管理業務の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が自然とふれあい、心身の健康増進を図るため、市民参加型のイベントを実施し、地域住民が交流しながら自然と親しむ場を提供する事業。 ・周遊型観光の促進を図るため、観光施設の案内、観光情報の発信、地場製品のPRを積極的に実施し観光客のリピーター化の促進を図る事業。 ・常に清潔・安全・快適な施設を提供するための維持管理業務。 		

2. 収支の状況 ※消費税及び地方消費税を含んだ額を計上すること。自主事業分は含まないこと。

※原則として他会計からの繰入金及び他会計への繰出金は含まないこと。

※人件費には、経常の指定管理業務にかかる人件費のみを記載し、臨時的な日雇い雇用などの賃金を含まないこと。

単位：千円

区 分	計 画 額 ①	実 績 額 ②	増 減 (②-①)
収 入 合 計 (A)	①10,729	10,843	114
うち利用料金額	②3,255	3,638	383
うち指定管理料	7,149	7,205	56
支 出 合 計 (B)	③10,729	11,056	327
うち人件費	④2,916	1,275	△1,641
収支差 (A-B)	0	△213	△213
市への納入金			
計画額と比較した実績額の増減理由			

3. 施設利用の状況

単位：人

	区 分	計 画 ①	実 績 ②	増 減 (②-①)
利用者数	有料利用者数	⑤5,200	6,205	1,005
	無料利用者数	900	620	△280
利用者の声とその対応状況 ※利用者アンケートの実施 (有・無) ケビンハウスにドライヤーが欲しい (オープンイベントでのアンケート) ※オープン時配置済み 他カメムシが多いなど。				

4. 自主事業の実施状況

単位：人、円

事 業 名	利 用 者 数	収 入	支 出
オープンイベント (無料開放)	159人	0	0
BBQ祭り	152人	197,600	406,166
利用促進キャンペーン	17件	0	17,116

5. 個別項目評価 ※指定管理者と市の所管課が評価

評価基準 A（優良）：計画された業務水準を大きく超える、独自の取組を実施するなど、特にめざましい成果をあげることが見込まれる。

B（適正）：適正に指定管理業務を行っており、計画された業務水準を達成できることが見込まれる。

C（要改善）：指定管理業務の一部に課題があると認められ、改善の余地がある。

評価項目	自己評価	市の評価
(1) 施設設置目的に添ったサービス向上に関する取組み状況		
①開館時間、休館日等を守り、施設利便性の確保に努めたか。	B	B
②施設の使用許可、使用料減免等が適正、円滑に行われたか。	B	B
③利用者に対する接客マナー等、職員の勤務態度は適正だったか。	B	A
④利用者の意見を聴取し、それらを反映する取組みを行ったか。	A	B
(2) 利用促進に関する取組み状況		
①施設利便性を高める努力を行い、効果が得られたか。	B	A
②潜在的な利用者等に営業広報活動を行い、利用アピールをしたか。	B	B
③自主事業を企画・実施し、効果が得られたか。	A	B
(3) 効率性の向上に関する取組み状況		
①施設管理経費を低減するための取組みを行い、効果があったか。	A	B
②収入増を図るための取組みを行い、効果があったか。	B	A
③職員の資質・能力向上を図る取組みがされたか。	B	B
(4) 施設の適正な維持・管理に関する取組み状況		
①施設の維持管理、運営に当たる人員配置は適正であったか。	B	B
②設備・備品の維持管理及び修繕が適切に行われたか。	A	B
③労働関係法令等を遵守し、適正な管理を行ったか。	B	B
④利用料金の收受及び施設管理経費の支出は適正であったか。	B	B
(5) 平等利用、安全対策、危機管理等に関する取組み状況		
①利用者が平等に利用できるよう施設利用情報提供に配慮したか。	B	B
②日常の事故防止等の安全対策は適切であったか。	B	B
③防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であったか。	B	B
④利用者の個人情報保護は徹底されていたか。	B	B

6. 指定管理者総合評価 ㊤自己評価をCとした項目についての改善策も記載すること。

営業は10月一ヶ月を残すのみとなり、繁忙期を終えて中間評価というよりは総合評価になります。接客と施設の維持管理は施設運営の最重要項目と捉え、常に細心の注意を払って管理監督しています。

10連休でスタートした本年の営業実績は過去最高の収益を記録し、一ヶ月を残して計画額を超えることが出来ました。

主催事業のキャンプ場まつり（BBQ）は当施設の主要事業の一つとして位置づけ、会議所を上げて取り組んでいます。個人（家族・友人）での参加はもとより、事業所のレクリエーションとしての参加も多く、今後団体に向けたアプローチを積極的に行って利用者の拡大に努めたい。

7. 市の所管課総合評価 ㊤市の評価をCとした項目についての指導内容も記載すること。

5月の大型連休の影響で過去最高の収益を記録したことは、日頃からの営業努力、施設の適切な維持も影響していると思われる。もっとも、当該施設が「観光施設」であることを踏まえると、SNS等で首都圏等へ広く情報発信し、そこからの大幅な誘客を期待したい。